

# 名護市地域公共交通計画の改定について

<p><b>目的</b></p>	<p>国の制度改正や地域交通状況の変化に対応し、<b>地域住民・観光客双方にとって利便性の高い持続可能な交通体系を確保するため、次年度に地域公共交通計画を改定する。改定では、運行系統の位置付けや目標設定を明確化し、交通空白地対策や関連する都市計画との整合性を強化する。</b></p>			
<p><b>背景</b></p>	<p><b>内部環境 の変化</b></p>	<p>名護市コミュニティバス（なご丸）の本格運行</p>	<p><b>現計画策定(R4.3) 後の取り組み</b></p>	<p>交通空白状況調査の実施 (地域別カルテ作成、15エリア分類)</p>
	<p>路線バス運休に伴う 名護市コミュニティバスの代替運行</p>	<p>複数年における地域住民アンケート・コミュニティバス利用者アンケートによる地域の状況の把握</p>		
	<p>路線バスの減便による 地域交通への影響</p>	<p>コミュニティバス（なご丸） バス停別乗降者数データに基づく分析</p>		
	<p><b>外部環境 の変化</b></p>	<p>国による「交通空白」解消に向けた取り組みの推進</p>	<p><b>新たに関連する 計画・事業</b></p>	<p>総合交通ターミナル整備</p>
	<p>計画制度と補助制度の連動化を含む制度改定</p>	<p>立地適正化計画の策定</p>		
	<p>地域公共交通アップデートガイドンス（2025.3）の公表</p>	<p>北部医療センターの開業</p>		
	<p>沖縄県北部12市町村が連携した観光地域づくり法人「やんばるDMO(仮称)」の設立(予定)</p>			
	<p><b>改定方針</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行系統の位置付け・役割を明記</li> <li>指標を整理し、<b>地域特性に応じた評価を導入</b></li> <li>2026年度1か年で計画改定まで実施</li> </ul>		